

農業倉庫業法案特別委員會議事速記錄第二號

大正六年七月十一日(水曜日)午前九時十五分開會

○委員長(伯爵奧平昌恭君) 御稱ヒニナリマシタヤウデスカラ、是カラ前回ニ引續イテ委員會ヲ開キマス、前回逐條ニ互ツテノ説明及質問ハ終ヒマシタヤウニ存ジマス、今日ハ大體論、即チ本案ノ立法上ノ御議論、又ハ御質問等ニ入りタイト思フデアリマス、先ヅ御質問ノ方カラ御始メヲ願ヒタイ

○男爵東郷安君 大體ノ質問ニ付テ二三御尋ネシタイト存ジマス、農業倉庫建設ニ關シテ、全國各府縣ノ特例ト稱ヘ得ベキモノハ、沖繩縣下ニ於ケル、砂糖ノ爲メ倉庫デアルト思ヒマス、衆議院ニ於テモ既ニ此點ニ付テ質問ガアリ、又政府ノ答辯ガアリマシタ、ソレニ依リマスト沖繩縣ノ糖業改良獎勵費ト云フモノハ金額ガ二万八千圓、是ハ臺灣ニ於ケル糖業獎勵政策トノ權衡上、サウ云フモノガ出來テ居ル、サレバ今更別ニ砂糖ノ倉庫ノ爲メ、今度ノ農業倉庫ト云フモノヲ拵ヘテ保護ヲ與ヘル必要ハナカラウト云フ大體ノ御答辯デアッタヤウニ記憶イタシテ居リマス、然ルニ本員ガ段々研究イタシマシタ所ニ依リマスト、今ノ二万八千圓ト云フモノハ大部分ハ糖業試驗場ノ技師ノ俸給ダトカ、其他各島間ノ運搬ニ要スル船舶ノ建造、若クハ黒糖壓搾用ニ供スル發動機等ニ使ハレテ、砂糖貯藏ニ要スル倉庫ニ對シテハ未ダ餘リニ重キヲ置カレテナイカノ如クニ見エマス、然ラバ該縣下ニ於ケル糖業者……農民ノ爲メ倉庫ノ必要ハナイカト申シマスルト、事實ハ之ニ反シ砂糖商人ハ各自己ノ倉庫ヲ設ケ居テ、農民ハ其商人ノ倉庫ニ高價ヲ保管料ヲ仕拂ツテ、預ケテ置クト云フヤウナ事實モアルデアリマス、果シテ然ラバ是等ノ點ニ付キマシテ、主務當局トシテ此沖繩縣ノ糖業改良獎勵費ノ使途ニ付テ、如何ナル方針ニ依ッテ行クカト云フコトニ付テ、大體ノ方針ガ定ッテ居ラレルナラバ、差支ナイ範圍ニ於テ何卒御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(道家齊君) 本案中ニ沖繩ニ於ケル所ノ砂糖ニ對シマシテ、農業倉庫ヲ獎勵スルト云フ意味ヲ含シテ居ラナイヤウデアアルガ、然ラバ同島ニ於テハ主ナル產物デアツテ、而カモソレニ對スル獎勵ハドウスルカト云フコトデアリマシタガ、御述ベニナリマシタ通り沖繩茲ニ大島等ニ於ケル所ノ砂糖ノ獎勵ト致シマシテハ、臺灣ニ於ケル所ノ砂糖ノ獎勵トノ權衡ヲ取リマシテ、尙且ツ同方面ニ於キマシテハ重モナル產物トシテハ砂糖デゴザイマスカラ、是ニハ相當ニ改良發達ヲ促ス必要ガアルデアリマシテ、現ニ二万八千圓ト云フ費用ヲ之ニ向ケルコトニナツテ居ル、デゴザイマスカラ砂糖ノ獎勵ヲ勿論スル積リデアリマシテ、此二万八千圓ノ使用方法ト致シマシテハ、從來アスコニハ糖業改良事務局ト云フモノガゴザイマス、ソレニナサセマシテ、尙ホ引續イテ糖業ノ獎勵ヲ致シマスルニ付キマシテハ、大體ノ糖業ノ改良事業ト致シマシテハ略々其緒ニ就イタ譯デアリマスルガ、併ナガラ尙ホ試驗事業ト云フヤウナモノ、即チ改良ヲ促スト云フ點ニ付キマシテハ尙ホ必要ガアルデアリマシテ、主トシテ此費用ハ沖繩縣ノ試驗ノ費用ニ充テテ居リマス、ソレガ一万少シ餘ニナル、其他ノモノハ矢張り糖苗ノ改良デアリマスカ、或ハ又此組合製糖ノ方法ヲ改良スルトカ云フヤウナ向キニ之ヲ向ケルコトニナツテ居ル、現ニ大島ニ於キマシ

テハ産業組合ガゴザイマシテ、此組合ニ於キマシテハ倉庫ノ必要ヲ認メマシテ、即チソレハ砂糖ヲ入レル倉庫デアリマス、此方ニ付キマシテハ倉庫ノ建設費トシテ之ヲ補助ヲ致シテ、尙ホ唯今御話ノ通りニ或ハ砂糖ヲ運搬イタシマスル汽船ヲ拵ヘル爲メニ之ヲ補助シテ居リマス、此二万八千圓ノ中ノ先ツ極メテ使用スル所ノモノハ、即チ試驗場費ト致シマシテ補助シテ居ルノガ一万圓餘ゴザイマス、其他ハ年々ノ計畫ニ依リマシテ砂糖ノ改良發達ヲ圖ル上ニ於テ必要ト認ムル分ニ對シマシテ補助スルコトニナツテ居リマスルカラ、果シテ此沖繩縣ニ於テ砂糖ヲ入レタリ致シマスル倉庫ガ必要ナリト致シマスルレバ、其費用ノ中ヲ以テソレニ振向ケルコトガ出來ルノデ、既ニ昨年度デゴザイマシタガ、沖繩ニモ倉庫ノ必要ガアルト云フコトヲ考ヘマシテ、知事ニ勸誘ヲ致シマシタコトガアリマス、所ガ縣知事ノ方デハソレマデノ未ダ必要ヲ認メヌト云フコトデアリマシタ、故ニ昨年度ニ於キマシテハ沖繩ニ於テ倉庫ノ建設費ハ別ニ補助ヲ致シマセヌガ、本省ト致シマシテハ此位ニ考ヘテ居ルカ第デアリマスカラ、地方ニ於テ砂糖ヲ入レマス倉庫ガ必要ナリト云フコトニナリマスレバ、其費用ノ中ヲ割イテソレニ向ケルコト云フコトガ出來ル積リデアリマス、既ニ昨年度ハ本省ヨリモ知事ニ向ケテ勸誘シタ位ノコトデアリマスカラ、故ニ本案ニハ別ニ砂糖ト云フコトハゴザイマセヌケレドモ、砂糖ノ產地、即チ沖繩、或ハ大島等ニ於キマシテハ砂糖ノ爲メ倉庫ガ必要ナリト致シマスレバ、右様ノ費用ヲ以テ補助イタシマスレバ相當ニ發達ヲ致シ、又便利ヲ與ヘルコトガ出來ルト云フ考ヲ有ッテ居ルデアリマス

○男爵東郷安君 尙ホ此點ニ附帶シテ伺ヒマスガ、若シ沖繩縣ニ於ケル産業組合ガ、内地ノ他府縣ニ於ケル或ルモノノ如クニ、相當基礎ガ鞏固デアリ、倉庫事業ヲ經營スルニ適當ナル能力ヲ有スルモノト致シマスルナラバ、砂糖ヲ收容スル爲メ倉庫ヲ建テテ、之ニ砂糖ヲ保管シ、倉庫證券ヲ發行スルト云フコトハ、商法上出來得ベキコトト考ヘマスガ、其邊ニ付テハ如何ナモノデアリマスカ、尙ホ假ニサウ云フモノガ成立チ得ルモノト致シマスレバ、本案ノ農業倉庫ト云フモノトハドウ云フ風ナ關係ニナツテ來ルカ、其點ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(道家齊君) 沖繩縣ニ於キマシテ、産業組合ガ發達イタシマシテ、倉庫ヲ經營スルト云フコトニナリマスレバ、即チ産業組合法ニ依リマシテ、即チ證券ヲ發行スルト云フコトモ出來ル譯デアリマス、其點ニ於キマシテハ沖繩ナド別ニ不便ヲ感シナイ積リデアリマス

○男爵東郷安君 次ニ別ナコトト伺ヒマスガ、本案ノ大體ノ御趣意ハ、先年組織サレマシタ米價調節委員會ニ於テ、成案ニナリマシタモノヲ條文トシテ、大體此案ニ御收容ニナツタモノト信ジマスガ、其際ノ特別委員會ノ成案ノ中ニ、第四號農業倉庫ノ設置ニ關スル件、(第一)ノ第四項、農業倉庫ニ對シ府縣罹災救助基金ヨリ貸出ノ便宜ヲ計ルコト、及第五項、農業倉庫ノ敷地ニ關シ便宜ヲ與フルコト、此二項ハ固ヨリ法律ノ條文トシテ現スベキ性質ノモノデアナイト信ジマスガ、本案ヲ作成セラレルニ當リマシテハ、必ズヤ相當ノ考慮ヲ費サレタモノト思ヒマス、殊ニ第五項ノ敷地ノ點ニ付テハ想フニ主

トシテ鐵道用地等ノコトヲ指サレテ居ルマモ、ハナカウカト思ヒマス、又第四項ニ於テハ、罹災救助基金ノ支出ノコトデアリマスカラ、此點ニ付テハ既ニ内務省ノ方ト相當ニ御交渉ガアツラウト思ヒマス、何卒此際ソレ等ノコトニ付テ極ク簡明ニ御答辯ヲ願ヒマス

○政府委員(副島千八君) 唯今ノ御質問ノ點ニ付テ御答イタシマス、罹災救助基金ノコトニ關シマシテハ、米價調節調査會ニ於テ決定シマシタト同時ニ、内務省ニ其決定ノ事項ヲ附シテ協議ヲ致シタデアリマス、未ダ罹災救助基金ヲ此方ニ廻スト云フ確定ニハ至リマセヌケレドモ、兎モ角モ同省ニ於テ調査中ト考ヘテ居リマス、次ニ農業倉庫ノ敷地ニ關シテ便宜ヲ與ヘルト云フコトハ、現行法規ノ改正ニ依ッテ得ラルベキモノト、法規ノ改正ヲ待タズニ得ラルベキモノトアルト考ヘテ居リマス、現行法規ノ改正ニ依ッテ得ラルベキモノトハ、即チ土地收用法ノ規定ニ於キマシテ此農業倉庫ノ敷地ヲ收用スルコトガ出來ル旨ヲ規定スルコトガ其一ツアラウト思ヒマス、此點ニ付キマシテハ同省ノ内務省ノ所管ニ屬スルガ故ニ、米價調節調査會ノ決定ト同時ニ、唯今申上ゲマシタ罹災救助基金ナドノ事項ト共ニ此事ヲ申送リマシテ折角協議中ト存ジマス、本法ガ成立シマシタ後ニツレ等ノコトガ問題ニナルデアリマスカラ、或ハ更ニ近キ將來ニ於テソレ等ノコトガ提案スベクンバ提案サレレモノト考ヘテ居リマス、ソレカラ法規ノ改正ニ依ラズシテ便宜ヲ與ヘルノハ、唯今東郷男爵ノ御話ノ通り鐵道院ノ敷地ニ付テ便宜ヲ與ヘルト云フコトニナルデアリマスガ、此點ニ關シマシテモ鐵道院ト交渉シマシテ協議中デアリマス、此法案成立ノ後ニ於テソレ等ノ點モ更ニ篤ト協議ヲ遂ゲル積リデアリマス

○男爵東郷安君 續イテ伺ヒマスガ、法文ニハ出テ居リマセヌガ、將來ノコトヲ豫測イタシマスレバ、或ハ法文ニ載セルコトモ必要デナカラウカト思ヒマスノデ、大體伺ッテ見ヤウト思ヒマス、即チ本案ニ於キマシテ農業倉庫ヲ各府縣ニ多數設立サレル曉ニ於テ、各倉庫ガ各自分立シ、相互ノ間ニ何等ノ聯絡ガナク時ニハ、米券ノ活動ト云フモノ、ハ其範圍ヲ一部ニ限局セラレ、從ッテ米穀ノ集散トカ、運輸上ノ便宜ニ付テハ甚ダ遺憾ナ點ガ多カルベキハ、事理ノ當然デアリマス、ソレデ若シ米券倉庫ノ機能ヲ十分ニ發揮シヤウトスレバ、是非トモ或ル地方、若クハ或ル府縣ノモノヲ一括シテ、之ヲ系統的ニ設置スルカ、或ハ又倉庫聯合組合ト云フヤウナモノ、設立ヲ獎勵サレルコトガ必要デハナカラウカト思ハレマス、單リ既設倉庫ノ聯合ノミナラズ、未ダ倉庫ノ設立セラレテ居ラナイ場所ニ新シク倉庫ヲ建設シ、又ハ支庫ヲ適當ナル箇所ニ建設スルコトモ或ハ必要デハナカラウカト思ハレマス、現ニ先日御同附ニナリマシタ參考書類ノ中ニ見エテ居ル獨逸ニ於ケル倉庫聯合ノ例ノ如キモ、或ハ又熊本縣ニ於ケル實例ノ如キモ、確ニサウ云フ施設ノ下ニヤッテ居リマスレガ、是等ハ非常ニ好成績ヲ擧ゲテ居ルデアリマス、尙ホ此法案ヲ讀ンデ見マスト、既設ノ米券倉庫業者ノ發行セル米券ニハ「農業倉庫證券」ト云フ文字ヲ用フルコトガ出來ナイコトニナッテ居リマス、然ラバ今度ノ農業倉庫法ニ依ッテ發行サレル所ノ農業倉庫證券ト云フモノト同様ニ取扱ハレテ互ニ聯絡ヲ保ツコトハ聊カ困難デアルカノ如ク見エマス、政府ノ御方針デハ既設ノ倉庫ニ對シテハ成ルベク其儘ニ存立セシメテ、敢テ其事業ヲ妨ゲザル趣意デアルト考ヘラレマス、併シ其間ニ各互ニ融通スルコトガ困難デアルトスレバ、其點ニ付テハ餘程聯合ト云フコトヲ考ノ中ニ入レテ、圓滿ナル發達ヲ期セラレナケレバナラヌコトカト思ハレマス、假ニ初メニ申上ゲマシタ倉庫聯合ト云フコトガ、餘リ

ニ理論ニ偏スル嫌ガアル、換言スレバマダ漸ク建テルバカリデ、倉庫間ノ聯合ト云フガ如キ先ノコトヲ考ヘル必要ハナイ、時機ガ尙早デアルト云フ御考モアルカモ知レマセヌガ、第二段ニ申上ゲマシタ點ハ本案實施後直チニ起ッテ來ル問題デアリマスカラ、是等ノ點ニ付テ政府ニ於テハドノ位迄ノ程度ニ於テ御考慮ニ相成ッテ居リマスカ、簡單ニ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(副島千八君) 唯今御質問ノ第一ノ點ハ實ハ洵ニ御尤モノノ御質問デアリマスガ、此點ニ付テハ私等モ始終研究苦心シテ居ルノデゴザイマス、先般全國ノ農業倉庫ノ理事トカ、或ハ支配ヲシテ居リマス者ガ廣島縣ニ於テ集リマシテ、此法案實施ノコトニ付テ種々協議シタコトガアルノデゴザイマス、其節モ此法案ニ付テハ大體四ツノ主體ガ認メラレテ居リマス、此四ツノ主體ガ各縣各、出來ルト云フコトニナルト、其間ノ統一ガムツカシイデハナカラウカト云フコトガ重要ナル協議事項ノ一ツニナッタデアゴザイマス、ソレデ其時ノソレ等ノ當業者ノ協議ニ於キマシテモ、例ハ熊本ノ如キハ今後公益法人ヲ主體トシテ進メテ行キタイト云フヤウナコトヲ申シテ居ルサウデアリマス、又三重縣ノ如キハ成ルベク産業組合ニ依リタイ、山口縣ノ如キハ農會ト云フ風ニ各、其縣ニ依ッテ成ルベク系統的組織ニ依ッテアルコトヲ折角協議シタヤデアリマス、農商務省ニ於キマシテモ是等ノ各種ノ倉庫ニ付キマシテハ一ツノ縣ニ於テ雜然ト色ミノ仕組ガ出來ルコトハ好マシキコトト考ヘテ居リマセヌ、故ニ是等ノ點ニ於テモ協議シタイト考ヘマシテ、此法案ガ實施サレル前ニ先づ八月下旬、若クハ九月ト考ヘテ居リマスガ、其頃全國ノ米券倉庫ニ關係シテ居ル者ト、ソレカウ縣當局ノ者、或ハ産業組合ニ關係シテ居ル者、サウ云フ各種ノ種類ノモノヲ集メマシテ、ソレ等ノ者ト能ク協議ヲ遂ゲマシテ、此施行ニ付テハ成ルベク雜然ト行カナイヤウナコトヲ講究シタイト考ヘテ居リマス、第二ノ御質問ノコトニ御答イタシマスガ、現在ノ農業倉庫ハ矢張り之ヲ立テテ行クト云フヤウナコトニ政府ノ答辯ガアツヤウデアルガ、果シテ然ラバ其發行シタ證券ト、此度ノ法律ニ依ッテ出來ル所ノ農業倉庫ノ證券トノ間ニ連鎖ガ絶ユルヤウナコトガナイカト云フヤウナ御質問デアリマシタガ、私等ノ大體ノ考ト致シマシテハ、現在存シテ居リマス所ノ商業的農業倉庫ニ付キマシテハ、是ハ或ハ市街地、大集散地ニ於テ今後主トシテ發達シテ行クモノト考ヘテ居ル、農村ニ於テ今日存シテ居リマス所ノ農業倉庫ガ、例ヘテ申シマス熊本縣下デハ地主會ノ設置シタモノハ此法律ニ依ッテ農業ノ發達ヲ目的トスル公益法人ト云フヤウナモノニ移ッテ行クモノト考ヘテ居リマス、故ニ今後農村ニ於キマシテハ主トシテ此法律ニ依ッテ農業倉庫ガ出來テ行クモノト考ヘマス、又サウ云フモノニ移ッテ行クモノト考ヘテ居リマス、故ニ是等ノ農業倉庫ノ間ニハ密接ナル聯絡ノ出來ルモノト考ヘテ居リマス

○男爵東郷安君 尙ホ一ツ伺ヒマスガ、是ハ實際上ノ問題デアリマス、確カ大正四年ノコトデアリマシタガ、政府當局者ハ各農業倉庫業者ニ對シテ「二硫化炭素ノ燻蒸法ヲ獎勵サレテ、補助金ノ交付マデモ申出サレタコトガアルト記憶イタシマス、然ルニ此燻蒸法ハ勿論最モ有效ナル消毒法デアリマスケレドモ、又同時ニ危險ナル爆發性ヲ有スル瓦斯體デアリマスカラ、爲ニ今日マデ屢、不測ノ禍ヲ惹起シタト云フコトモ、當局ノ夙ニ御存ジノコトデアラウト思ヒマス、而シテ此事タルヤ農業倉庫ノ經營ト離レカザル關係ヲ有ッテ居ルト思ヒマス、即チ倉庫ノ保險トハ極メテ密接ナル關係ガアルデアリマス、

換言スレバ今日ノ所保險業者ハ農業倉庫ニ保險ヲ附スルコトヲ嫌惡スル傾向ガアルノ
デアリマス、又最近大阪ヲ始メ其他各地方ニ於テ頻發イタシマシタ化學工業品ノ爆發
ト云フコトガ與テ、益々此傾向ガ増大シテ來タカノ如ク思ハレマス、尙ホ本年五月富山
縣ニ於テ米穀大會ヲ催シマシタ時モ、此件ニ付テ當業者が憂慮シテ當局ニ建議ヲナシ
タト云フコトヲ聞イテ居リマス、此點ハ事實上果シテドウナツテ居ルノデアリマスカ、尙ホ何
トカシテ之ニ相當ナ注意ヲナサレテ解決セラレナケレバ、農業倉庫ノ發達上誠ニ由々シキ
影響ガアルモノト思ハレマス、此點ニ付テ何等カ御所見ガアリマスレバ伺ツテ置キタイト思
ヒマス

○政府委員(道家齊君) 此二硫化炭素ノ燻蒸ト火災、即チ保險トノ關係ニ付テ唯
今御尋ノ點ハ至極御尤モテゴザイマシテ、是ハ二硫化炭素ハ害蟲ヲ驅除イタシマス點カ
ラ申シマシテモ、又米質ノ變化セズシテ其效ガアルト云フコトハ分ツテ居リマス、地方ニ於
キマシテ二硫化炭素ノ燻蒸ハ驅除ノ方法トシテ最モ有效デアルト認メテ居リマス、又各
地方ニ於キマシテモ之ガ爲ニ講習ナリ或ハ實地ノ使用ナリト云フヤウナコトヲ致シテ居
マス、又政府ト致シマシテハ唯今仰セノ如ク此燻蒸ト云フコトヲ必要ト認メマシテ種々
獎勵イタシマス結果、今日ハ餘ホド普及イタシマシタ、大凡此效果ハ認メテ居リマス、而
シテ是ガ爆發性ノモノデアリマスカラ其點ニ付テ餘ホドノ注意ヲ要スルノデアリマス、旁
此講習ナリ實際問題ト致シマシテ其點ニ注意ヲ要スルガ爲ニ特ニ講習會ヲ催シタリ致
シテ居ル次第デアリマス、偶々是ガ二硫化炭素ノ爲ニ火災ヲ發シタヤウナコトガ、タシカ
兵庫縣デゴザイマスカ、ドコカニアツタト云フコトデアリマスガ、ソレモ段々調ベテ見マスト云
フト相當ナル注意ヲ拂ツタト云フコトテナク、矢張り二硫化炭素ノ扱ヒナドヲ知ラナカッタ
結果ノヤウニ考ヘテ居リマス、是ハ相當ノ注意ヲ拂ヒサヘスレバソレ程危險ナイ、斯ウ
云フコトヲ二硫化炭素ノ方ノ效果ヲ認メル者カラ申シマスシ、又實際サウデモアルノミナ
ラス、又此外ニ二酸化水素ヲ用ヒマスレバ尙ホ危險ガナク有效デアルト云フコトモアリマ
スガ、是ハ尙ホ研究イタシテ居リマス、兎ニ角二硫化炭素ノ效用ハ十分ニゴザイマスガ、唯
使用ニ付テ危險ガアルト云フコトデアリマスカラ、其點ニ付テ今講習ヲ開イテサウシテ使
用サヘ十分注意イタシマスレバ其點ハ憂フルニ足ラヌト云フコトハ、能ク分ツテ居リマス、ソ
レデ保險會社トノ交渉ニ付キマシテハ其點ハ餘ホド能ク説明ヲ致ス積リテ當局モ其筋ヘ
能ク二硫化炭素ト云フモノハドウ云フ性質ノモノデ、ドウ云フ方法ニスレバ危險ガナイト
云フコトガ保險會社ノ方ニ分ルヤウニ致シタイ、斯ウ云フ考ヲ以テ保險會社ノ方ヘハ十
分ニ交渉ヲ致シテ、此法律ヲ施行イタシマシテモ一面ニ於テハ倉庫ノ建設ニ相當ナル注
意ヲ拂ツテ、二硫化炭素ニ耐ヘルヤウナ建造ヲ致シ又使用法モ講習ヲ致シマシテ誤ラヌ
ヤウニ致シマス、ソレカラ保險會社ノ方デハ唯之ヲ用ヒレバ餘ホド危險デアルト云フヤウナ
コトニ漫然ト考ヘテ居ル向キモアリマスカラ、其點ハ保險會社ノ方ヘ相當ニ二硫化炭素
ノ扱ヒ竝ニ危險ノ程度ガドウデアアルカト云フコトガ分ルヤウナ手續ヲ取リ積リデアリマス、
實際問題トシテ地方ニ是ガ發シタコトガアリマスガ、ソレモ甚ダ不明デアリマス、ソレデ之
ヲ使用スルニ當ツテ十分注意ヲシタカト云フト、ドウモサウデナイト云フコトハ分ツテ居リマ
スカラ、此點ニ付テ保險會社ノ方ヘモ相當ニ注意シテ參リマシタナラバ、必ズ保險會社
ノ方デモ此保險ニ附スモノニ對シテ拒ムト云フヤウナコトハナカラウト思フ、現ニ熊本ニ於

キマシテハ保險ニ附シテ居リマス、且ツ二硫化炭素ヲ用ヒテ居リマシテ、會社トシテ保險
ニ附スルコトヲ拒ムト云フコトハゴザイマセヌ、唯都會ノ或ハ東京デアリマストカ神戸デア
リマストカ云フヤウナ所デアサウ云フ問題ガ起キテ居ルヤウニ考ヘテ居リマス、此點ハ十分ニ
會社ノ方ヘモ交渉ヲ致シマシテ能ク事柄ノ分ルヤウニ致シタイ、斯ウ云フ考ヲ有ツテ居
マス

○委員長(伯爵與平昌恭君) モウ御質問ハゴザイマセヌカ、御質問ガナイトスレバ本
案ニ對シテ討論ヲ致サナケレバナリマセヌガ、御議論ガナイトスレバ直チニ決ヲ採リマス

○佐藤友右衛門君 別段質問ハアリマセヌ

○男爵東郷安君 此ハ實際本案ノ大體ニ付テ、二三ノ意見ヲ述ベテ當局ノ御參考
ニ供シタイト思ヒマスガ、宜シウゴザイマスカ

○委員長(伯爵與平昌恭君) 宜シウゴザイマス

○男爵東郷安君 第一ハ農業倉庫ノ經營主體竝ニ其業務範圍ノコトニ付テ聊カ疑
ヲ有ツテ居リマス、ソレハ第五條第二項ニアリマス農會又ハ公益法人ニ對シテハ、產業組
合ノ如クニ金融ノ方法ヲ附ケテヤラヌト云フ點デアリマス、此點ハ展々本議場ニ於テモ又
當委員會ニ於テモ各議員ノ御方カラ御議論ノアツタ點デアリマスガ、私ハ是ハ寧ろ第三
項全部ヲ削除セラレテモ差支ナイモノデアラウト考ヘマス、今日マデノ農業倉庫發達ノ歷
史ヲ辿ツテ見マスト、農業倉庫ノ經營ト金融トハ離ルベカラザル關係ガアルト思ハレマス、
即チ金融ヲ付ケ得ラレルガ爲ニ農業倉庫ガ發達シ得タト云フコトハ、爭ハレナイ事實デア
リマス、現ニ廣島縣ニ於テハ農業倉庫ガ出來タニ拘ラズ、ナカノク之ヲ利用スルモノガナ
イ、依ツテ縣當局ガ比較的多額ノ入庫獎勵金ヲ支出シテ勸誘イタシマシタガ、尙ホソレ
デモ效果ガ著シカラズ、遂ニ之ニ金融ヲ付ケテヤルコトニナツタ所ガ農民ガ最モ利害ヲ直接
ニ感シタ結果、之ヲ利用スルモノガ多クナツタト云フ例ガアリマス、即チ金融ガ出來レバ之
ニ依ツテ其利鞘ヲ取ルコトガ出來ル、倉庫業者ガ單ニ僅少ナル保管料手數料バカリノ
收入ニ依ラズ、更ニ資金運轉ノ爲ニ生ズル其利鞘ヲ儲ケルコトガ出來ルナラバ、假令非
營利的ナル農業倉庫デモ計算上相當ニ維持スルコトガ出來ルノデアリマス、而シテ今マ
デノ農業倉庫ノ全體ノ成績ヲ通覽シマスト、或モノハ頗ル維持ガ困難ニ陥ツテ居リマス、
何故カト云フト矢張り金融ヲ付ケテ居ラナイト云フコトガ多クイヤウニ見エマス、私ハ「市町
村及其之ニ準スルモノ」ニサヘモ金融方法ヲ御許シニナル以上ハ、假令農會其他公益法
人ハ其モノノ性質トシテ、金融機關ヲ併置スルコトハドウカト思ハレマスケレドモ、此農會
又ハ公益法人ガ一ノ企業主體トナツテ倉庫ト云フ別個ノ企業ヲ營ムニ於テハ差支ナカ
ラウト思ハレマス、是ハ議論ニ涉リマスカラ本員ハ唯斯ウ思フト云フコトダケヲ御參考ニ
申上ゲテ置クニ止メマス、ソレカラ第五條ノ第二項ノ「組合員ニアラサルモノ」ニ對シテ金
融ヲ付ケナイト云フコトハ是モ聊カ狄キニ失スルノデハナカラウカト思ハレマス、政府當局
ハ產業組合ノ本質ハ相互主義ニ依ツタモノデアルト云フ意味カラ、產業組合員ニアラザ
ル者ニ對シテ金融ヲ付ケルコト云フコトハ面白クナイト云フ御考デアリマスケレドモ、此農業
倉庫ハ產業組合ガ企業主體トナツテ經營スル一種ノ公益の事業デアリマス、產業組
合ガ企業主體デアツテ、企業其モノハ別個ノ一事業デアリマス、其事業ノ繁榮ヲ期待ス
ルニ於テハ私ハ寧ろ金融ヲ付ケセテヤッタ方ガ農業倉庫ノ利用ヲ増スコトニナリハシ

ナイカト思フデアリマス、又積極的ニサウ云フヤウナ恩典ヲ其土地ノモノニ與ヘレバ、從ツテ産業組合ノ加入者が多クナツテ、産業組合ノ發達ヲ期スルコトニナルト思ハレマス、政府ノ御意見ハ消極的デアリマスガ、私ハ寧ろ積極的ニ出テヤツタ方ガ産業組合ノ隆盛ヲ圖ル所以デハナカラウカト思フデアリマス、若シ産業組合員ト然ラザル者トハ區別セムトスルナラバ、貸出利率ノ高下ニ依テモ區別スルコトガ出來ルデアラウカト思ハレル、併シ是モ亦一ツノ議論デアリマシテ、他日本案ヲ實施サレタ曉ニ各地ノ狀況ヲ親シク御經驗ニナリマシタ上、尙ホ此點ニ付テ篤ト御研究ヲ煩ハシタイト思ヒマス、ソレカラ第二段ニ申述ベタイコトハ金融ノ方法デアリマス、即チ第二條ノ第四號五號ニ當ルコトデアリマス、農業倉庫ノ目的トスル所ハ大農デナク、主トシテ中小農デアルト云フコトハ先般來御說明ニナツテ居ル所デアリマス、殊ニ小農者ニ對シ金融ヲ付ケテヤルコトガ必要デアリマスカラ、成ルベク小農者ニ對シテ手數ヲ掛ケナイヤウニ又小口ノ資金ニ對シテハ餘計ナ費用ヲ掛ケナイヤウニスルコトハ、立法者トシテ考ヘテ居ラネバナラヌト信ジマス、然ルニ此法案ニ依リマス、農業倉庫證券ヲ擔保シテテナケレバ貸付ケルコトハ出來ナイト云フヤウニ書イデアリマス、私ハ一々農業倉庫證券ト云フモノヲ發行シテ其都度印紙稅ナリ其他ノ手數料ヲ拂ツテヤラセルト云フコトハ、從來ノ農業倉庫即チ米券倉庫ノ慣習ニ聊カ反スルト云フテハ語弊ガアリマスガ、面倒ニ過ギル、億劫デアルト斯ウ思フデアリマス、ソレヨリハ僅カ一二俵或ハ數俵ノ米ヲ持ッテ來タモノニ對シテハ、其物自體ヲ引當テニシテ御貸シニナルト云フ風ナ便宜ヲ付ケテヤラセルト云フコトガ却ッテ此法ノ精神ニ適フモノデナカラウカト思フデアリマス、ソレカラ第五號ニ對シテハ農業倉庫業者ノ融通資金ヲ調達スル場合ニ再割引ノ方法ヲ認メラレタモノデアリマスガ、是モ當局ノ御考デハ或ル縣下ノ互ニ鄰接セル地域ニアル倉庫間ニ於テハ極メテ容易ニ融通ガ出來ルト云フコトヲ念頭ニ置カレテ居ラウト思ヒマスガ、今日實際ニ於テ、又近キ將來ニ於テモナカク、サウ理想通りニ行カヌデハナカラウカ、殊ニ各種多様ノ期日ヲ有ツタ農業倉庫證券ノ多數ヲ纏メテ、他ノ倉庫ニ再割引ノ爲ニ擔保ニ入レルノデアリマスカラ、ソレヲ出シ入レル手數デモ非常ナモノデアルト思ハレマス、即チ私ハ倉庫間ノ距離ガ多クレバ多イ程、金融ガ困難デアルト思フデアリマス、ソレカラ此點ニ關シ今一ツノ半面カラ見マスト本法ニアル農業倉庫ノ經營主體ハ多クハ産業組合デアルガ如クニ考ヘラレマス、而シテ此産業組合ニ對スル無擔保貸付ノ限度ハ大抵知レタモノデアリマス、即チ千圓トカ或ハ二千圓トカ、大概ノ場合、數千圓以下デ一萬圓ニ達スルモノハ極メテ稀デアリマス、サウスレバ産業組合其モノ、無擔保貸付ノ限度ハ農業倉庫事業ノ資金ニノミ用フルノデハナク、他ノ事業ニモ使用セラレヘキ性質ノモノデアリマスカラ、第五號ノ農業倉庫證券ヲ擔保シテ融通シ得ル限度ハ知レタモノデアルト思ハレマス、然ルニ又一方カラ見マシテ政府當局ハ唯今御計畫ニナツテ居ル如ク、一箇ノ倉庫ノ敷地ガ約五十坪位ノ見當ノ規模デアルト致シマシテ、坪六十俵位ノ貯藏分量ト致シマスレバ、一ツノ倉ニ約三千俵程入ル、而シテ假ニ其中ノ半分千五百俵ニ對シテ金融ヲ付ケルモノトスレバ一俵四圓トシテ六千圓ニナリマス、一箇ノ倉庫ニ約六千圓入用デアリマスカラ、是ガ縣下ニ數箇アレバ尙ホ數倍ノ資金ヲ要スル譯デアリマス、假ニ一倉庫内ニ在ルモノ、四分ノ一ニ對シ融通スルモノトシテモ尙ホ三千圓ノ金額ヲ要シマス、然ルニ産業組合ノ融通資金ハ前述ノ如クサウノ澤山ナイデアリマスカラ、若シ本案ノ如ク必ズ是ダケノ範圍ニノミ金融

ノ方法ヲ制限スルトセバ、或ハ將來不幸ニシテ金融ノ硬塞ヲ來シハシナイカト考ヘラレルデアリマス、ソレデアリマスカラ、私ハ倉庫自身ガ進シテ保管シテ居ル所ノ物、即チ米穀トカ藪トカ云フモノヲ擔保トシテ他ニ資金ヲ求メル方法ヲ御認メニナツタ方ガ金融上極メテ自由デアアルマイカト思ハレマス、併シ是ニハ固ヨリ相當ノ法規ヲ要スルハ勿論デアリマス、兎ニ角私ハ其位マテ金融ヲ附ケル範圍ヲ自由ニ御認メニナラナケレバ農業倉庫ノ主眼タル金融ノ點ハマダ遺憾ナ點ガ多クハナカラウカト思フデアリマス、併シ是モ尙ホ實際ニ御施行ニナリマシタ曉ニ於テ、種々ノ實驗カラ御研究ガ出來ルコトト思ヒマスカラ、暫ク此事ハ御參考ニ申上ケテ置キタイト思ヒマス、要スルニ私ハ農業倉庫ノコトハ多年ノ懸案デモアリ、又農村振興ノ爲メ極メテ必要ナル事業デアリマスカラ、之ニ對シテ衷心ヨリ贊成ヲスルニ吝ナラザルモノデアリマスガ、唯以上ノ諸點ニ付テ聊カ二三ノ氣付イタコトヲ申上ケテ置クノデアリマス、尙ホ最後ニ一ツ希望ヲ申上ケテ置キマス、先般本院ヲ通過イタシマシタ産業組合法中改正法律案ノ決議ノ際ニ、産業組合ノ施設ニ對シテ本院ハ關係當局者ニ對シテ其監督上深甚ノ御注意ヲ願フヤウニ希望シテ置イタノデアリマスガ、今又此産業組合ハ農業倉庫ノ如キ重要ナル事業ヲモ經營スルヤウニナリマシタカラ、更ニ一層取締上ノ注意及監督ヲ嚴重ニセラレムコトヲ望ムノデアリマス、殊ニ斯ウ云フ公共的ノ事業ハ要スルニ理事者トナル人物ノ選擇如何ガ非常ニ重要ナル點デアリマシテ、事業成敗ノ岐ル、所デアリマスカラ、私ハ此點ニ付テモ能ク當局者ガ御注意アラムコトヲ希望イタシマス、尙ホ農業倉庫ヲ澤山拵ヘマシテモ、今日ノ農民ノ程度ニ於テ之ヲ利用スルモノガ果シテ多イカ否ヤ、殊ニ東北地方ノ農民ナドノ現狀カラ見ルト、此農業倉庫ヲ利用スルト云フ考ガ生ジテ來ルマデニハ、相當ノ手段相當ノ教育ガ必要デアルト思ハレマス、ドウゾ此點ニ付テ特ニ本員ノ微意ノアル所ヲ諒トセラレムコトヲ願ヒタイデアリマス

○委員長(伯爵與平昌恭君) チョット東郷男爵ニ伺ヒマスガ、其御意見ハ委員會ノ御意見ト致シマスカ個人トシテノ御意見ト致シマスカ、委員會トシテノ御意見トスルナラバ皆サニ御相談シテ議場ニ報告シナケレバナリマセヌ

○男爵東郷安君 是ハ私個人ノ希望ニ止メテ置キタイ考デアリマス

○委員長(伯爵與平昌恭君) モウ別ニ御意見モナシトシマスレバ本案ニ對シテ決ヲ採リマス、別ニ御異議ガナケレバ原案ノ儘可決シタモノト委員長ハ認メマスガ如何デゴザイマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵與平昌恭君) ソレデハ原案ノ儘可決イタシマシタ

- 午前十時散會
- 出席者左ノ如シ
- | | | |
|-----|----------|----------|
| 委員長 | 伯爵與平 | 昌恭君 |
| 委員 | 子爵東坊城德長君 | 子爵片桐 貞央君 |
| | 前田 正名君 | 男爵青山 元君 |
| | 男爵東郷 安君 | 男爵東郷 安君 |
| | | 子爵米津 政賢君 |

政府委員

田中源太郎君
江原 芳平君
依田仙右衛門君
佐藤友右衛門君
鈴木周三郎君
農商務次官 上山滿之進君
農商務省農務局長 道家 齊君
農商務書記官 副島 千八君

大正六年七月二十九日印刷

大正六年七月三十日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局